



たくさんのおぶどう、先生これ切って!!



自分で獲ったぶどうは、あまいかな。

議会だより

あさひむら

秋、みつけた!

保育園「ぶどう狩り」
体いっぱい秋を感じて

今年もぶどう農家さんの好意で
楽しいぶどう狩りができました。「あま〜い!」
うれしそうな笑顔いっぱいの園児たちです。

もくじ	・ 9月定例会・委員会報告・行政視察 …………… 2~4	● 「議会だより」第42号
	・ 一般質問 村政を問う …………… 5~9	発行日/2021年10月31日
	・ 特集 議会モニター …………… 10	発行/朝日村議会
	・ 議員活動報告・議員活動日誌・訃報 …………… 11	〒390-1188 長野県東筑摩郡朝日村
	・ 村民の声・ちょっと訪問・編集後記 …………… 12	大字古見1555-1
		TEL.0263-99-2001 (代)
		FAX.0263-99-2745
		Eメール:gikai@vill.asahi.nagano.jp
		印刷/川越印刷株式会社

令和2年度決算認定

新型コロナウイルス感染症対策費等の増加により

歳入 **40億2,293万円** (前年度比31.3%増)

歳出 **38億5,421万円** (前年度比32.1%増)

9月 定例会

9月8日(水)に招集された令和3年村議会9月定例会では、下記の議案等について慎重審議し、全案件を原案どおり可決し、9月17日(金)に閉会しました。

- 承認4件(一般会計及び特別会計(スキー場)、企業会計(簡易水道))
 - ▶新型コロナ対策による公共施設のトイレ洋式化工事等
- 条例2件(村個人情報保護条例の一部改正、番号法に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正)
- 補正予算3件(令和3年度一般会計及び特別会計(国保・介護))
- 決算認定7件(令和2年度一般会計及び特別会計、企業会計)
- 報告1件(健全化判断比率及び公営企業会計に係る資金不足比率)
- 工事請負契約の変更1件(移動系消防用デジタル無線システム設備整備工事)
- 発議2件
 - 沖縄戦戦没者の遺骨を含む土砂を埋め立てに使用しないよう求める意見書
 - コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書



令和2年度 村のお金の使い道! (一般会計目的別決算概要)

議会費 5,038万円 議員報酬、議会運営費 議会だよりほか	総務費 9億6,774万円 コロナ関連給付金事業費、行政システム、庁舎等施設管理、地域公共交通対策ほか	民生費 6億7,402万円 子育て関連給付金事業費、障がい者支援、老人福祉、社協補助、子育て支援、保育所ほか	
衛生費 1億6,718万円 健診事業、母子保健、感染症対策、ワクチン接種、ごみ処理、簡易水道事業会計補助ほか	農林水産業費 1億7,323万円 有害鳥獣対策、農地保全等、地方創生事業(アグリ)、土地改良、林業、松くい虫対策ほか	商工費 1億5,582万円 商工会、コロナ関連企業支援事業費等、プレミアム商品券、スキー場特別会計繰出ほか	
土木費 5億9,563万円 道路維持補修、改良工事等、除雪融雪作業、下水道事業会計補助ほか	消防費 2億5,953万円 広域消防負担金、消防団運営、防火水槽整備、新型コロナウイルス感染症対策ほか	教育費 3億8,995万円 トイレ改修・ネットワーク整備等小学校費、中学校費、公民館、美術館、教育関連施設コロナ対策費ほか	
公債費 2億2,710万円 地方債(借入金)の元利償還金	諸支出金 1億6,248万円 財政調整基金等	労働費 1,105万円 勤労者福祉資金融資制度	災害復旧費 2,012万円 林道施設、農業用施設

※表示単位未満端数処理により合計が一致しない場合があります。

9/17 議会最終日 一般会計補正予算案に異議あり

旧おひさま保育園の解体事業費4,750万円などの削除を求める修正案が提出されたが、賛成少数で否決された。

討論

議案	賛否	議員名	討論要旨
議案第46号 一般会計補正予算 (第5号) 減額修正案 旧おひさま保育園 解体費用 わくわく館・グラ ウンド駐車場舗装 工事	原案に 賛成	清沢正毅	私は議案第46号は賛成です。跡地利用の進め方に問題があるから反対と言うのは理解できません。本議案は解体費用の補正であり、解体を認めるか否かを判断するものであります。おひさま保育園解体は数年前から解体の方向が示されており、議員全員が承諾している事案です。解体しなければ次に進みません。跡地利用の方向はまだ議論の最中であり、子育て支援センターと運動広場駐車場舗装改修工事は子供たちの安全を確保する上で大変重要な事です。補修を見送ったことで万一子供たちに危害が及んだとしたらとんでもない事です。危険リスクが想定された時その災害ポテンシャルを早期に取除く事は行政の当然の責務です。安全対策にやりすぎはありません。
	原案に 反対 〔修正案 提出〕	塩原智恵美	旧おひさま保育園解体費用は村の「個別施設計画」を始め、予算化する為の指針である「実施計画」に計上がない。村が仕事をするうえで基本中の基本を無視して補正予算化した。(補正予算は災害復旧など非常時に対応するなどルールがある)さらに保育園解体の目的は村営住宅建設の為と村長は明言。議会は土地利用について村から十分な説明もなく承知していないため、住宅建設ありきの保育園解体は認められない。なお、わくわく館等の駐車場整備費用800万円は長年の間修繕の必要があったにも関わらず、放置により経費が増し、妥当な修繕をするために十分な見積もりをした上で、「実施計画」に計上して新年度当初予算で対応するのが本来の姿である。こうした村の一連の対応は議会軽視であり無視できない。

採決

議案 番号	件名	議員名及び賛否 ○賛成 ×反対								
		上條俊策	高橋良二	清沢正毅	高橋廣美	林邦宏	中村文映	齊藤勝則	上條昭三	塩原智恵美
議案 第46号	一般会計補正予算(第5号)減額修正案 旧おひさま保育園解体費用 わくわく館・グラウンド駐車場舗装工事	×	×	×	×	○	×	○	×	○
	一般会計補正予算(第5号)原案	○	○	○	○	○	○	×	○	×

附帯決議案

一般会計補正予算(第5号)について、付帯決議案が中村文映、高橋廣美、清沢正毅議員から提出され、賛成多数で議決された。

● 附帯決議の要旨

一般会計補正予算(第5号)のうち、「施設解体事業設計業務委託」「旧保育園建物解体工事」において、村の本年度個別施設計画や実施計画にない4,750万円という多額の事業を補正予算で計上することは、行政の事業の計画性を軽視することである。また、事業説明も議会、区長・地区長、地元説明会資料がそれぞれ異なるなど、行政の事業の進め方は村民及び議会への誠実さを欠き問題である。

しかし、村が長年にわたり「旧保育園」利活用を模索してきたこと、建物の痛みが激しくアスベストが使用されていること、また周辺住民から環境悪化への

不安や取り壊し要請が出ていることから、補正予算を賛成多数で議決した。しかし、今後の村の事業計画立案や今事業実施に当たり、以下の点に留意して、適切な対応を求めるものである。

- 1 公共施設の維持修繕は長期的視点に立ち、当初予算に計上するよう努めること。
- 2 事業を進めるにあたっては十分な検討期間、多様な村民の意見を聞き、その検討経過と結果を丁寧に村民や議会に公表すること。
- 3 「旧保育園」跡地利用については、様々な可能性を考慮し、村民及び議会の理解・承認を経て進めること。



【議会用語解説】

附帯決議＝議会の思いを示す議決

附帯決議とはその対象になる事案(今回は補正予算)の可決後に、議会が執行上の意見や要望を表明するものです。議決には法的拘束力は有りませんが、住民代表である議会がその意思を示すことは、行政も重く受け止めるを得ず、政治上の効果は小さくありません。



社会文教委員会報告

「沖縄戦没者の遺骨を含む土砂を埋め立てに使用しないよう求める意見書」採択される

9月13日に開催した委員会で、上記内容の要請を慎重に審査しました。結果は、沖縄本島南部地域は去る沖縄戦で多くの住民や兵士が犠牲となり、その遺骨も残っている地域であり、現在も収骨が行われています。本地域が基地建設の埋め立て用土砂の採取地として指定され、戦没者の遺骨が埋め立てに使

用されることは、基地建設の賛否ではなく、人道的見地から要請の必要があると認め、全会一致で要請を採択しました。定例会最終日に、全員一致で採択し、9月17日衆参両院、関係行政庁へ意見書を提出しました。

社会文教委員長 中村文映

発議

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書を提出!

現在、新型コロナウイルスの感染症の拡大は、変異株の猛威も加わり、我が国の各方面に甚大な経済的・社会的影響を及ぼしており、国民生活への不安が続いている中で、地方財政は、来年度においても財源不足が避けられない厳しい状況に直面しています。

地方自治体においては、新型コロナウイルス感染症対策はもとより、地方創生、雇用対策、防災・減災対策、デジタル化や脱炭素社会の実現とともに、財政需要の増嵩が見込まれる社会保障等への対応に迫られており、このためには、地方税財源の充実が

不可欠であります。このことから、国における令和4年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、コロナ禍による厳しい財政状況に対処した地方財源の充実を求めるため、「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書」を発議し、議員全員の賛成により採択しました。その結果9月17日衆参両院、関係行政庁へ意見書を提出しました。

総務産業委員長 上條昭三



行政視察

8月の長雨の影響で全国的に災害が多発しました。朝日村でも村内各所で土砂崩落、集水枡からのオーバーフロー等による畑地の浸水などの災害が発生しました。9月議会最終日の行政視察で災害地を回り、建設環境課長の案内で説明を受け、確認しました。今回の災害は、規模の大小はありますが、その被害の甚大さを実感し、予算措置も含め早期の復旧の必要性を感じました。

主な災害の実態

- (1) 古川寺北側（古見配水池までの砂利道が山からの水により洗掘）
 - (2) 古見排水池地下ピット内に浸水
 - (3) 東京電力前（集水枡のオーバーフロー及び歩道の水が畑に流水）
 - (4) ピアライン北側（集水枡のオーバーフローで道路に土砂が流出）
 - (5) 内山沢上流周辺（水路よりオーバーフローで砂利道が洗掘）
 - (6) 三ヶ組薬師堂前（集水枡オーバーフロー及び道路の水が畑に流水）
 - (7) 上針尾橋上流約700m鎖川左岸（護岸に水が回り崩落）
- その他林道も数箇所の災害があり、特に鉢盛山登山道に通じる野俣林道は崩落がひどく県との相談で今後の復旧が見込まれています。

高橋廣美



村政に問う!!

一般質問とは、議場において議員が日常活動と住民の声や疑問をもとに、村政全般にわたり行政の姿勢を質すものです。

ここが聞きたい 9 議員 15 項目

北村直樹議員 (5ページ)

- 1 公金【基金】の効果的な運用の要検討を
- 2 小学校通学路の危険箇所改善について

上條俊策議員 (6ページ)

- 1 旧おひさま保育園跡の村営住宅建設について
- 2 大雨による朝日村の被害状況について

清沢正毅議員 (6ページ)

- 1 誰もが暮らしたくなる村づくりに朝日村営墓地霊園は必要では
- 2 災害発生時に使用するマンホールトイレの導入は

高橋廣美議員 (7ページ)

- 1 朝日村農業ビジョンについて

林邦宏議員 (7ページ)

- 1 今後の松枯れ対応は

中村文映議員 (8ページ)

- 1 「朝日村農業ビジョン」策定に当たり、村の農業政策の基本姿勢について

齊藤勝則議員 (8ページ)

- 1 朝日村の豪雨災害並びに各種災害の徹底見直しを
- 2 朝日村の魅力を移住者目線で

上條昭三議員 (9ページ)

- 1 コロナ対策とワクチン接種状況について
- 2 松枯れ対策について
- 3 地域おこし協力隊の今後の活用について

塩原智恵美 議員 (9ページ)

- 1 早急に求める防災対策

問 先月の全員協議会の中で「公金（基金）の効率的な運用について」当局より説明を受けました。基金は、目的に応じて確実かつ効率的に運用をし、預金、国債証券、地方債証券等により確実な方法によって運用しなければならぬと定められております。しかし私はこの提案に対し、債権【国債・地方債】の年限規制やコロナ禍による社会経済の動向・自然災害による復旧基金の取り崩し、将来に渡つての人口減少による交付金の減少等を背景に基金運用については現時点で不安を感じる。以上のことから次の質問を致します。

- ① コロナ禍経済の中、何故この時期に基金を使って運用するのか？
- ② 長期に縛りがかかる金融商品へのリスク管理はどのように行うのか？
- ③ 今後の自然災害に対し、基金活用シミュレーションはできているのか？

会計管理者及び企画財政課長

① 昨年度より行政改革大綱の中で管理行政から経営行政に方針転化を図った。基金運用については昨年度



カネ・ヒト・モノの関係図

答 10年財政計画の中で長期的な運用を考えている



北村直樹 議員

基金の効率的な運用の再検討を

より計画を練り、本年度、更なる情報を精査する中で庁舎内で検討した結果、実施することを決めた。

② 債権の年限規制に対しては2つ対策を講じる。基金の一括管理方式を導入し、複数の基金商品管理を行うことで長期運用商品の途中解約を回避することが可能。

③ 基金については現在24億3千万円程保有している。財政調整基金については明確な保有基準が存在しない為、他市町村と比較するしかない。保有率としては県下では31位と中間に位置する。よって10年間の財政計画をしっかりと組み、運用を図ってきたい。



上條 俊策 議員

旧おひさま保育園跡の説明会を

答 説明会を開き今後の方向を検討していく

問 旧おひさま保育園跡に建設予定の村営住宅に関して、コロナ禍の折、近隣住民への説明会もできず、書面で説明資料と、アンケートという依頼があった。当事者としては、建設の方向に反対しているわけではないが、図面を見るだけでは理解できず、説明会をコロナ対策して実行して欲しいとの要望に対してどう対応するか。

は完了予定で、古見配水池・地下ピット等は1月完了予定。

産業振興課長 観光関係（キャンプ場上部土砂流出・9月中復旧）林道関係5箇所（内山沢・上の山・曾倉沢）は8月25日復旧）中俣・樫俣沢は10月中旬に復旧。鉢盛山線は岳沢崩落復旧を県との協議中である。
質問者 当局の早い対応に感謝し、今後の対応を願う所である。

企画財政課長 当初説明会を計画していたが、コロナ状況の悪化により、説明会が開催中止になった。今日現在コロナ状況も改善し、県の規制も緩くなったことから9月21日に説明会を行う予定。尚、資料の設計図は、あくまで参考イメージ図で、今後幅広い意見を聞いた上で、計画していく予定である。

大雨による朝日村の被害状況と対応は

問 8月の大雨による被害状況とそれの復旧状況はどうか。

建設環境課長 御馬越用水取水口・御道開渡下流崩落・古見原側溝泥上げ等で復旧対応しており、10月末に



旧おひさま保育園

答 実現の目処がいたら前向きに検討していく



清沢 正毅 議員

朝日村村営墓地霊園は必要では？

問 村民からの意見で、「将来自分の入るお墓を確保したい。」「墓の管理で子どもに負担を掛けたくない。」「自分が生きている間に改葬（墓じまい）を考えたい。」と言った意見があります。近年個人で墓を持ち管理するのは時代遅れで、それぞれのライフスタイルに合わせた墓や供養の方法を選択する人が増えてきている。こうした実態を踏まえ、将来にわたって村に住み続けたい村民意向として、村営墓地霊園の設置は必要条件である。近隣市村では朝日村・麻績村以外の自治体はすでに公設霊園が完備されている。是非、他に先駆けた、多様なある村営墓地霊園の実現を期待したいがいかがか？

建設環境課長 村としても住民アンケートを行い、住民ニーズは相当数あることを確認している。そして県内外の視察も行い、今後も継続して協議を進めていく必要があると考えている。
村長 住民ニーズは承知しているし、私のもとへも直接要望がある。村内の二つのお寺とも打ち合わせを

したが今のところ進展はない。霊園として何が一番良いのかを考えた時、樹木葬が良いと考えるが、適した場所が村内には見当たらない。また、永代管理していかなければならないためその組織体制をどうするのかも課題だ。いずれにしても必要性は感じているため、実現の目処がいたら具体的に検討委員会等で前向きに協議していく。

質問者 場所の問題については住民協働のテーマの一つとして取り組んで行けば良い提案も出てくる。ぜひとも実現に期待したい。
問 国交省は災害発生時に使用するマンホールトイレの設置を自治体に要請しているが、村では導入設置の予定はあるか？

建設環境課長 村は国交省の補助対象区域外であるため、国の補助は受けられない。設置するとなれば起債事業である緊急防災減災事業での扱いとなる。今後旧役場庁舎跡地に建設予定の拠点避難所には設置を検討したい。



高橋廣美 議員

農業ビジョン村の考え方は

答 有機農業については国・県の方針に従って進めていく

問 村は令和4年から令和11年度

(8年間)という期間の農業ビジョンの策定に取り掛かるつもりです。このビジョンは朝日村第6次総合計画に基づき、国の「食料・農業・農村基本計画」等の内容を踏まえ、当村の農業振興を推進するための指針を示すものとあります。総合計画の中に「安全・安心及び環境に配慮した農業の推進と土壌の保全」とあります。また、農林水産省は化学肥料や農薬を使わない有機農業への転換を促すため、担い手に補助金を出す新たな制度を設けると言っています。また、2050年までにオーガニック市場を拡大しつつ、耕地面積に占める有機農業の取り扱ひ面積の割合を25%に拡大することを目指すと言っています。このような流れに対し村の考えは。

産業振興課長 従来、村では有機農業はあまり積極的に取りあげては来なかつたが、国の「みどりの食料システム戦略」に基づきながら、村独自の有機農業の推進に努めていきたい。

村長 「野菜バス」などの方式で有機農業者と消費者を繋げる研究をしていきたい。

ていきたい。



林 邦宏 議員

今後の松枯れ対応は

答 守るべき赤松林を決めて駆除していく

問 村内の赤松林に黄緑かかったり赤茶色の立木が目につき、この事象は鎖川右岸段丘の原新田や、左岸ピュアラインあさひ裏の段丘や上組・三ヶ組・古見地籍・他各所で見られる。住民の皆さんからは、被害木が各地に散逸しているが、村は松くい虫防除対策は実施しているのかと問われたり、森林所有者からは四賀や筑北、明科のような赤松被害木林にしない防除体制で赤松林を守って欲しいという要望等があります。そこで松くい虫防除対策の現状と今後の対応についてお尋ねする。

① 今年度の松くい虫防除対策費は831万円程計上されている事業の進捗状況と成果はいかがか。
② 被害木を伐倒燻蒸処理した際使用されたビニールシートが劣化飛散しているが、プラスチックごみが問題視されている昨今どのような対応策を取るか。
③ 松くい虫被害は海拔の高い民有林へ拡大して駆除費用が高み村財政の重荷になるのは必須。国・県への補助金交付申請を提案するが、当局の考えは。

産業振興課長 今年度の前半は、36本90mを6月上旬迄に実施している、後半は10月以降に感染木の伐倒燻蒸処理をしていく。燻蒸処理用シートは成分分解性シートを使用し安全性は確保している。財源は令和4年度は国庫補助が受けられるか県と調整を図っている。

問 被害木の検証精度を高める対応策はどのようにされているか。
産業振興課長 今年度からドローンを採用して精度をあげ、職員の定期調査や住民の方々や村有林管理員からの情報収集で対応している。

問 後半の被害木処理費用は12月に補正予算を計上しなければならぬのでは。
産業振興課長 後半は60本程見込まれ、処理をする立地条件が悪くコスト高となり、補正の計上も必要になることもある。

村長 被害木は毎年140%の伸びで駆除能力をオーバーし、海拔も1000m域に達し、駆除する赤松林が拡大していく。駆除する赤松林と伐採する赤松林に分けて対応する。



中村文映 議員

農業ビジョン策定に当たり 村の基本姿勢は

答 課題がある中、ビジョンは毎年更新されるもの

問 地球規模での温暖化の進行、異常気象や大規模災害の発生など、農業を取り巻く環境が大きく変化している。そんな中、村は将来を見据えて「農業ビジョン」の策定に取り組んでいるが、「持続可能な農業」の視点をいれる予定はあるか。また、村が取り組む未来世代からの発想法「フューチャーデザイン」の手法を取り入れるのか、農業が持つ「多面的機能」についてはどう考えるか。

産業振興課長

大きな計画ではあるが「持続可能な農業」への取組を盛り込む必要がある。フューチャーデザインの手法は今回取り入れないが、将来を見据えた視点で議論していただいている。また、広く村民の理解のもと、多面的機能についても盛り込む予定だ。

問 環境の変化に対応するため、未来を見据えての施策が必要ではないか。

村長 農業には大きな課題がたくさんある。農業ビジョンは毎年更新されていくものと考えている。気候変動に対応した作物の研究にも今後本

腰を入れて考え、投資もしていくので長い目で見て欲しい。

問 新規就農者は有機農業に関心が高い、有機農業についての施策はあるか。

産業振興課長

今まで村は力を入れてこなかったため、今後有機農家に協力していきたい。また、県の学習会等に関わったり、村独自で専門家を招き講座を開くなどしていく。また、どんな支援ができるか検討、JA等とも協力して受け入れ態勢の強化を図っていく。

問 農地を守るには農家がたくさんいることが大切だと思うがいかがか。

村長

野菜バスや月3万円ビジネスの取組もそうだが、小規模農家支援の仕組みづくりを継続、強化していくことだと思つた。



広がる野菜畑



齊藤勝則 議員

朝日村の豪雨災害並びに 各種災害の徹底見直しを

答 豪雨災害は、それぞれ適切な対応をしている

問 今、百年に一度の豪雨とかニュース等で報道されていますが、これは明らかに地球温暖化の影響で、これからは頻繁に起こると考えられます。村の山道や堤防、U字溝をきちんと整備することが必要です。また、野俣沢の第三堰堤の上流に大型砂防堰堤をフューチャーデザインの観点からも考えてもらえないものか、また、流木や流石等で野俣沢橋の流れが止まり満杯になればキャンプ場や、下流住民に多大な被害がでないかと心配ですし、観光施設のあり、なおさらです。当村出身の県議がいるうちに国、県に働きかけてもらえないものか。

関係課長

今回の豪雨では野俣沢第三堰堤の上流の既存の堰堤で土石流防いでいるし、古見の被害も水切りを1か所から3か所にふやして直しているし、山道も整備した。今後よい事業があれば国、県にも働きかけたい。また農業被害についてはなかった。

要望 フューチャーデザインの観点から村民に被害が起これらぬよう最善を尽くしてもらいたい。



第3堰堤



上條昭三 議員

今後のコロナ対策とワクチン接種は

【答】対策は継続し、ワクチンは広域接種も検討

問 ブレイクスルー感染は村において事例はあるか。ワクチンを2回打ったからと安心していても感染のリスクはある。今後の村のコロナウイルス感染症対策はいかがか。ワクチンの村における接種状況はいかがか。小中学生の感染状況と今後の見通しはいかがか。

住民福祉課長 感染状況について、感染者の管理は全て県が行っており、ブレイクスルー感染についても村では把握できない。現在行っているワクチン接種は10月中に終了。その後の接種は検討中。広域的接種を県に要請中。コロナ感染防止対策は今後も同様に継続していく。

【松枯れ対策は】

問 松枯れは、平成28年初めて確認され、令和2年度には69本を処理するに至った。赤松の被害木は発見しだい全量駆除し、取組としては委託事業として周辺木も含め89本の伐倒燻蒸作業を行っている。秋までに枯れている赤松の被害木は調査し伐倒燻蒸を予定している。そこで、今

後の方針としてドローンによる上空からの調査をして、被害木の発見数は増えたのか。最近でも、赤坂やピュアラインのほばにも松枯れが多少見受けられる。松本市の管轄ではあるが、村はどう対処されるか。発見後はより積極的な伐倒燻蒸を。

産業振興課長 ドローンで急傾斜地等であっても焦点を当て調査し有効に活用できる。早期の発見、早期の処理を実施していく。松本市境の松枯れは、市の事情もあるが、村としては積極的に申し入れをしていく。

【地域おこし協力隊の今後の活用は】

問 今後満期になった隊員の補充をしていく予定はあるか。特に婚活のスタッフの補充は必要かと思うがいかがか。

企画財政課長 都会からの地方移住、地域振興を図るため、今後も協力隊制度の積極的な活用を図っていききたい。婚活事業については村としても継続し、少子化の抑制に繋げるため、現在の事業を引継ぐ婚活スタッフの補充を考えている。



塩原智恵美 議員

早急に求める防災対策

【答】第5分団詰所隣接地に防災センターを村が建設

問 お盆の期間中(8月13日～15日)大雨により村内各所に被害が出た。野俣沢に設置した村の雨量計(3日間積算)は475ミリ。14日の24時間雨量は280ミリだった。気象庁が土砂災害警戒情報を出し、村は鎖川

右岸・左岸に指定避難所を設置、複数の村民が避難した。今後予想される大雨や地震など大規模災害を考慮した時、全てを満たす右岸の指定避難所は旧おひさま保育園のみ。しかし9月議会で補正予算可決。10月から取壊しが始まる予定。これにより指定避難所は1か所もないことになる。左岸は中央公民館など公共施設が充実。格差は歴然。今後の災害に備えて、右岸の入三、針尾、西洗馬に公共事業による指定避難所の設置を強く望むが村の方針はいかがか。

村長 西洗馬は第5分団詰所の隣接地に避難所を含む防災センター(緊急防災減災事業)を村で作りたい。中山間総合整備事業はやめる。防災機能整備の必要があるので入三、針尾を含め方向について区長会で検討

する。議員提案の防災知見の人材も入ってもらう。

問 ため池は村内に9か所存在。3か所(昔の池・曾倉・滝ヶ入)は防災重点ため池に指定済み。残り6か所は、国の新たな基準に照らすと、全て防災重点ため池に該当する。早急に県の指定を受け廃止や修繕など対策を求める。

村長 3か所以外調査検討してこなかった。指定に向けて申請する。ため池は再調査して登録漏れを防ぐ。防災重点ため池は災害対策の取り組みをしていく。

要望 国は「防災重点ため池の防災工事等を推進する為の法律」を昨年作り、「防災減災国土強靱化の5か年加速化対策」を今年からスタート。防災重点ため池はこの中に位置づけ、R7年までに事業前倒しも可能とした。国庫補助は8～9割。国家予算はこれからまとまる。情報を早く取り村の計画にのせ、地元との十分な協議の上、その期待に応えてほしい。

議会改革

開かれた議会を目指して 議会改革その一歩!!



9月議会が終わり、議会モニター会議を開く中で、モニターからの意見により、早急に対応を迫られる課題が明確になった。

「発言のない議員がいる」「発言内容に開きがある。活発な発言を求める」「議案を事前に勉強して、より良い議案に高めてほしい」など。もっともなご意見である。住民の代表として住民の想いを代弁するはずの議員の姿を見たとき、現実を率直に受け止めたのだと思う。

議場とは、村政全般にわたる重要事項を決定する場であり、そのための議論が尽くされる場である。そして最終的に村の政策を議会として意思決定する神聖な場である。その場所で村民の負託を受けた議員それぞれが、根拠に基づいた賛成・反対討論を述べ、十分議論を尽くしているのか……問われたと感じる。

議会改革とはこの一歩から始まる。心して取り組まないと議会は村民からの信頼を失う。

議会運営委員長 塩原 智恵美



モニター会議の様子

9月定例会終業後の28日午後6時より、議会モニター7名全員の皆さんと、議会運営委員会所属の議員が出席して第2回モニター会議を開催した。会議では議員とは全く別の視点から率直な意見、発言が数多く

モニター効果絶大 行政と議員双方に緊張感!!

9月8日から開催された朝日村議会9月定例会は、連日多くの傍聴者にお越しいただいた。大多数は議会が本年度から新たに募集し、応募いただいた議会モニターの皆さんだった。

ここ数年の議会は村民の傍聴者は残念ながら少なかった。それが、モニター制度が始まった7月以降、本会議はもとより委員会にも傍聴者があり、日によっては傍聴席が満席状態に

第2回モニター会議開催 村政へ真摯な意見!!

9月定例会ではいただいた意見や提言を全員協議会に報告・共有化を図り、今後の議会運営、議会活動に生かしていきたいと考えている。また、整理、検討した内容をホームページでの公開に向けて話し合っている。

ここでは発言の主旨を抜粋して紹介する。

- 会議における議員は、発言の権利があると同時に義務もあると思う。出て黙っているのではなく、活発な議論・討論をして欲しい。
- 文章を出したので周知した、書類が各戸に渡っているの理解されているはず、そのような

出された。

議会ではいただいた意見や提言を全員協議会に報告・共有化を図り、今後の議会運営、議会活動に生かしていきたいと考えている。また、整理、検討した内容をホームページでの公開に向けて話し合っている。

ここでは発言の主旨を抜粋して紹介する。

- 会議における議員は、発言の権利があると同時に義務もあると思う。出て黙っているのではなく、活発な議論・討論をして欲しい。
- 文章を出したので周知した、書類が各戸に渡っているの理解されているはず、そのような

答弁が村側に多いと感じた。

- YouTubeやオンラインを活用して、会議等が簡単に見られるように欲しい。
- 行政の出す議案も完全無欠でない場合もある、議員はしっかりと勉強して至らない点を討論で指摘し、正しい議案にして欲しい。
- テレビ放送はされているが、今後は障害のある方に対する配慮をお願いしたい。
- 避難所は基本、地元の人が運営する。コロナの状況も良くなってきたので、避難所の設置訓練や会議を持ったほうが良いのではないか。

答弁が村側に多いと感じた。

—議会モニター募集中—

ご都合のつく時に議会の傍聴やAYT放送・ホームページ等をご覧いただき、議会への意見・提言を行っていただく議会モニターを募集します。現在定員10名に対し8名の参加をいただいています。村政に興味や関心のある方は是非ご応募をお願いします。

議会運営委員会
副委員長 中村文映

議員活動報告

地域を目で見て 聞いて参加して

議員は、議員活動日誌のとおりたくさんの諸会議・行事・研修及び視察を行っています。このコーナーでは、主だった活動についてご報告させていただきます。

長野県町村議会議長会出席

9月27日に長野県町村議会議長会へ出席しました。

県内の町村議長が一同に集まり「持続可能で最適な公共交通の構築に向けた取組」「コロナ禍における県の移住施策について」話し合いが行われました。

公共交通は県民にとっても無くしてはならない「足」です。今後は民間と市町村と県による三位一体の経営方針が必要であると議論がなされました。

移住施策については、コロナ禍によりオンライン化・テレワークの浸透が進み、都会から地方へ移住する人口が増

えていることを背景に、県外からの移住促進するに当たり必要なことは「市町村の魅力発信及び定住促進施策」そして県としては各市町村に対して活動しやすい環境づくり体制のサポートです。県内の市町村がオール信州を掲げて移住者の獲得をしていかなければならないと議論がなされました。その後、各部会で国・県に対する提案・要望書の取りまとめを確認いたしました。今後は県外移住者の獲得に向けて役場行政と連携を図っていかなくてはならないと感じました。

(北村直樹)

草刈ボランティア

7月21日恒例の議員全員による仲俣せせらぎ公園の草刈を行った。

近年のアウトドアブームとコロナ禍でも外に出たいという多くの人の憩いの場所としては最高の自然公園です。で、コロナ禍ではありませんが、皆で実行することになりました。

水遊びをして楽しめる公園として人気があります。基本的なコロナ対策をして、きれいな空気を思い切り吸って欲しいと思います。



草刈りボランティア

議会活動日誌

7月

- 1 木 村議会総務産業委員会
- 5 月 議会システム説明会
- 7 水 松本広域連合第1回臨時会・議員協議会
- 9 金 第2回男女共同参画計画審議会
- 13 火 地域高規格道路松本糸魚川連絡道路長野県側ルート建設促進協議会（大町市）
- 14 水 村議会全員協議会・村議会社会文教委員会
- 19 月 朝日村緊急防災ヘリポートヘリ離着陸訓練鉢盛中学校組合議会臨時会
- 20 火 松塩筑木曾福祉施設組合臨時会
- 21 水 **草刈りボランティア（中俣せせらぎ公園）**
11P
- 29 木 松塩地区広域施設組合第1回臨時会
- 31 土 議会だより第41号発行日

8月

- 2 月 松塩地区広域施設組合環境保全協議会
- 4 水 風食防止対策協議会
- 5 木 東筑摩郡村議会議長会臨時総会（麻績村）
- 11 水 村議会全員協議会
- 20 金 第3回朝日村男女共同参画審議会
- 25 水 朝日フューチャーデザイン研修
- 松くい虫防除対策協議会

9月

- 1 水 議会運営委員会
- 8 水 村議会9月定例会本会議・全協
- 9 木 村議会9月定例会全協
- 13 月 村議会常任委員会
- 15 水 村議会9月定例会本会議一般質問
- 17 金 村議会9月定例会本会議・全員協議会
行政視察 4P
- 22 水 朝日村戦没者慰霊祭
- 27 月 **長野県町村議会議長会政務調査部会（長野市）**
11P
- 28 火 村議会全員協議会 議会モニター会議

訃報



村議会議員の訃報について

上條昭三議員（2期目・無所属）が令和3年10月6日に78歳で逝去されました。

上條昭三議員は、平成27年の初当選以来、副議長や総務産業委員会委員長などを歴任され、本村の発展に多大な貢献をされました。ここに哀悼の意を表し、謹んで故人の御冥福をお祈り申し上げます。

村民の声



風が涼しくなり過ごしやすくなってきたこの季節、新型コロナウイルスがなければ快適なのですがうまくはいかないようです。コロナにおびえながらの日々がまだしばらくは続きそうです。

山あいの静かなこの村に来てなるべく目立たないように生活しようと暮らしていても、何やらいろいろと役がまわってきます。その都度地域の人に助けられながらも何とか務めてきました。

長年会社勤めをしていて、そろそろゆとり過ぎたいと思っていた矢先、ある日突然に集落支援員の話が私のところに舞い込みました。なにぶん初めての経験でお断りをしていたのですが受けざるを得なくなり手探り状態で職務をこなしております。広範囲な仕事内容なため気を長くしての毎日です。

住みよい村に奮闘中

集落支援員
高橋清人さん

少しでも住みよい村になればと思っていますが、そのためには皆様のご協力、ご支援をいただく事が不可欠となります。どうかよろしくお願いいたします。



新しい自主防災会資料作り

村内の施設やイベントに議員が訪問して その取組や要望を聞く 地域密着のコーナー

第10弾 「タジマモーターコーポレーション朝日」



スキー場 オープンに向けて

キャンプ場、スキー場、緑のロシアムの指定管理者であるタジマコーポレーション朝日の総支配人の加藤裕士さんを訪ね、お話を伺いました。コロナ禍でアウトドア人気の中、野保沢キャンプ場もゴルフデンウイーク、お盆を中心とした夏休み期間等かなりの賑わいでした。

キャンプ場は11月末でクローズし、12月からはプライムスキー場を中心に営業予定です。今シーズン開業30周年を迎えるに当たり、記念事業も含め現在の企画を練っており多忙な毎日であるとお聞きしました。あさひバレーリゾートの冬バージョンに期待するところです。
(高橋廣美)



キャンプ場の予約事務



準備が進むスキー場

編集後記

第5波の新型コロナウイルスも、新たな感染者もだいぶ減少に転じてきました昨今ですが、油断は禁物です。政府も緊急事態宣言解除のようですが、今度こそ、医療機関、全国民、政府が一体となってインフルエENZAワクチンの様な程度ですむようにしたいものです。議会としても、村民の皆さんのために最善を尽くしたいと思っております。今後ともよろしくお願いたします。
(斉藤勝則)

- | | |
|-------|-------|
| 発行責任者 | 北村 直樹 |
| 議長 | |
| 編集委員 | 高橋 廣美 |
| 委員長 | 高橋 良二 |
| 副委員長 | 上條 俊策 |
| 委員 | 上條 昭三 |
| | 齊藤 勝則 |
| | 塩原智恵美 |

◀こちらから朝日村議会のホームページをご覧いただけます

